



砺波広域圏事務組合

クリーンセンターとなみ



豊かな水と緑の自然環境を保全し、清潔で明るく住みよい生活環境を維持することは私たち誰もが念願するところであり、近年、社会経済の発展や生活様式の多様化に伴い、日常生活から排出される廃棄物は量的増大と質的多様化が進んでおり、これら廃棄物を適正に処理することが行政に課された最も重要な問題であります。

砺波広域圏事務組合クリーンセンターとなみでは、平成3年2月に焼却施設の稼働を開始し、平成12年から平成14年に排ガス高度処理施設整備及び灰固形化施設整備事業を行い、焼却施設のダイオキシン類の削減対策など環境保全や公害防止に努めております。

しかしながら、焼却施設の経年的老朽化による設備、装置等の劣化が進み、処理能力も低下したことから、施設の延命化や性能維持を図るため、平成31年2月から令和4年3月まで基幹的設備改良工事を実施いたしました。

この工事により、公害防止対策に十分配慮するとともに地球温暖化防止対策となる省エネ化や二酸化炭素排出量のさらなる削減を図っておりますが、今後も安全で適正なごみ処理、環境負荷の低減に努めてまいります。

終わりにクリーンセンターとなみの運営にあたり、深いご理解と多大なご協力をいただきました地域住民の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。



焼却施設設備概要

建築面積	1,383㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨ALC板帳 地下1階、地上3階、延床面積 2,135㎡
処理能力	70t/日(35t/16h×2基)
主要設備	受入れ供給設備、燃焼設備、給排水設備、 排水処理設備
着工	平成元年7月
竣工	平成 3年1月
設計・施工	株式会社タクマ
監理	財団法人日本環境衛生センター 有限会社高島設計

排ガス高度処理施設概要

主要設備	二次燃焼設備、燃焼ガス冷却設備、 排ガス処理設備、通風設備、灰出し設備、 電気設備、計装制御設備
着工	平成12年5月
竣工	平成14年7月
設計・施工	三菱マテリアル株式会社
計画・監理	株式会社建設工学研究社

灰固形化施設概要

建築面積	50㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨ALC板帳 地上4階、延床面積 200㎡
処理能力	2.72t/日
主要設備	ダスト安定化設備、電気計装設備
着工	平成12年5月
竣工	平成14年3月
設計・施工	三菱マテリアル株式会社
計画・監理	株式会社建設工学研究社

焼却施設基幹的設備改良工事概要

処理能力	90t/日(45t/24h×2炉)
主要設備	燃焼設備、燃焼ガス冷却設備、 排ガス処理設備、余熱利用設備、通風設備、 灰出し設備、電気設備、計装設備、雑設備
着工	平成31年2月
竣工	令和 4年3月
設計・施工	株式会社タクマ
監理	株式会社中部設計

資源ごみストックヤード設備概要

敷地面積	243㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造
着工	平成4年5月
竣工	平成4年6月
施工	市堰建工株式会社
設計・施工監理	有限会社舞設計事務所

リサイクルセンター施設概要

敷地面積	165㎡
建物構造	軽量鉄骨造、融雪型、外壁カラー鉄板
竣工	平成5年5月

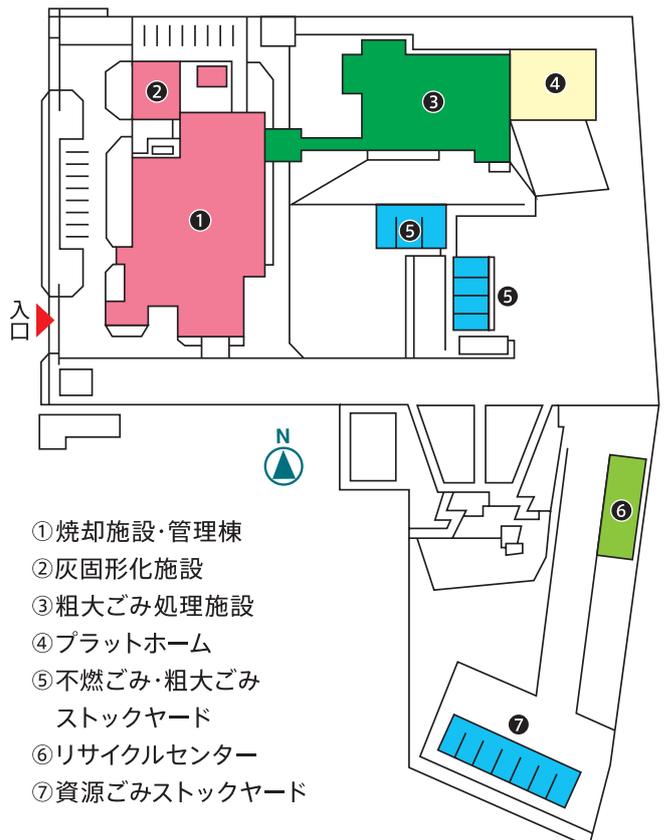
粗大ごみ処理施設設備概要

建築面積	1,041㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 地下1階、地上4階、延床面積 1,807㎡
処理能力	9t/5h
主要設備	受入れ供給設備、破碎設備、搬送設備、 選別設備、貯留・排出設備、集じん設備、 給排水設備、電気計装設備
着工	平成7年9月
竣工	平成8年9月
設計・施工	東レエンジニアリング株式会社
監理	株式会社中部設計、中外テクノス株式会社

一般廃棄物最終処分場概要

敷地面積	77,000㎡
埋立要領	57,000㎡
埋立方式	準好気性埋立
処理能力	80㎡/日
主要設備	浸出水処理設備、埋立処分場
着工	平成11年8月
竣工	平成13年3月
施工	共和化工株式会社 佐藤工業、梅本建設工業、成和建设共同企業体
設計・監理	株式会社建設工学研究社

施設配置図

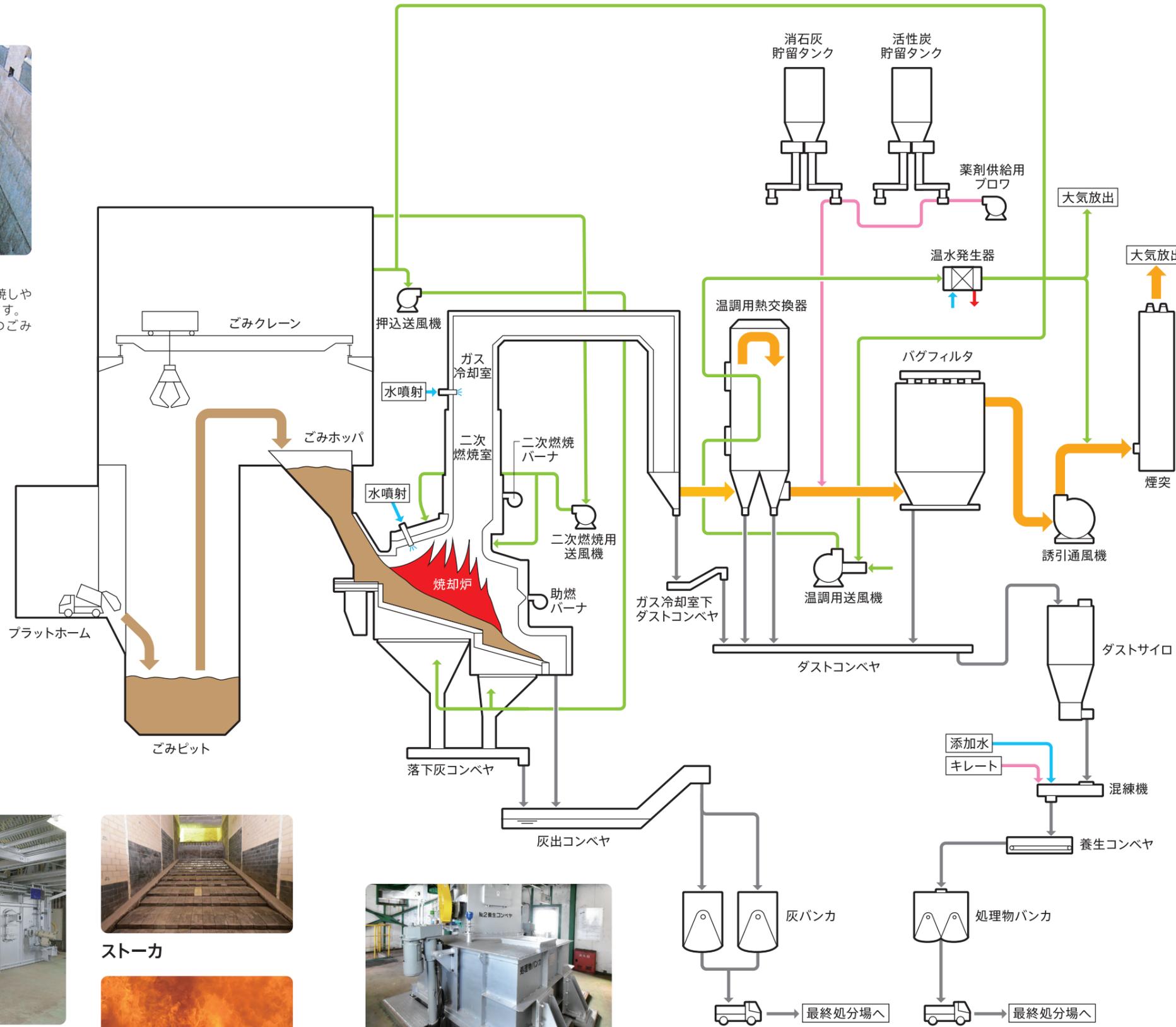


ごみ処理の流れ



ごみピット

プラットホームから投入されたごみは、燃焼しやすくなるようクレーン操作でかき混ぜられます。そしてごみの量を確認しながら、適量ずつごみホッパへ供給します。



焼却炉

炉内へ入ったごみは、3つのストーカでそれぞれ乾燥し燃焼して灰になります。ごみはいったん燃え始めると、燃焼熱で新しいごみを乾燥させ、自然し、連続的に焼却されます。



ストーカ



燃焼状況



処理物バンカ

安定化したダストを貯留し、トラックで最終処分場に運ばれ、埋立処分されます。



中央監視装置

施設内の様々な機器の状況を監視し、コンピュータにてコントロールします。



薬剤供給用ブロフ

有害物質を薬品の投入により除去します。



バグフィルタ

焼却炉より発生する燃焼排ガス中のダストの除去及び有害物質を除去します。



混練機

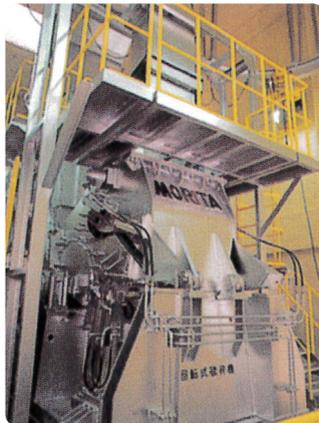
バグフィルタ等で発生したダストをキレート処理により安定化する設備です。

不燃ごみ及び粗大ごみは、まず危険物や資源びんなどを取り除いてから前処理破碎機で粗破碎されます。その後、回転式破碎機、磁選機、粒度選別機、アルミ選別機により、鉄・アルミ・可燃物・不燃物に分けられ、再生工場や各処理施設に送られます。施設内の空気はサイクロンやバグフィルタでちりや有害物質を除去し、大気へ排出します。



前処理破碎機

資源びんや危険物が取り除かれた不燃ごみ及び粗大ごみは、No.1受入れホッパから前処理破碎機に送られます。ここで処理しやすい大きさに粗破碎されます。



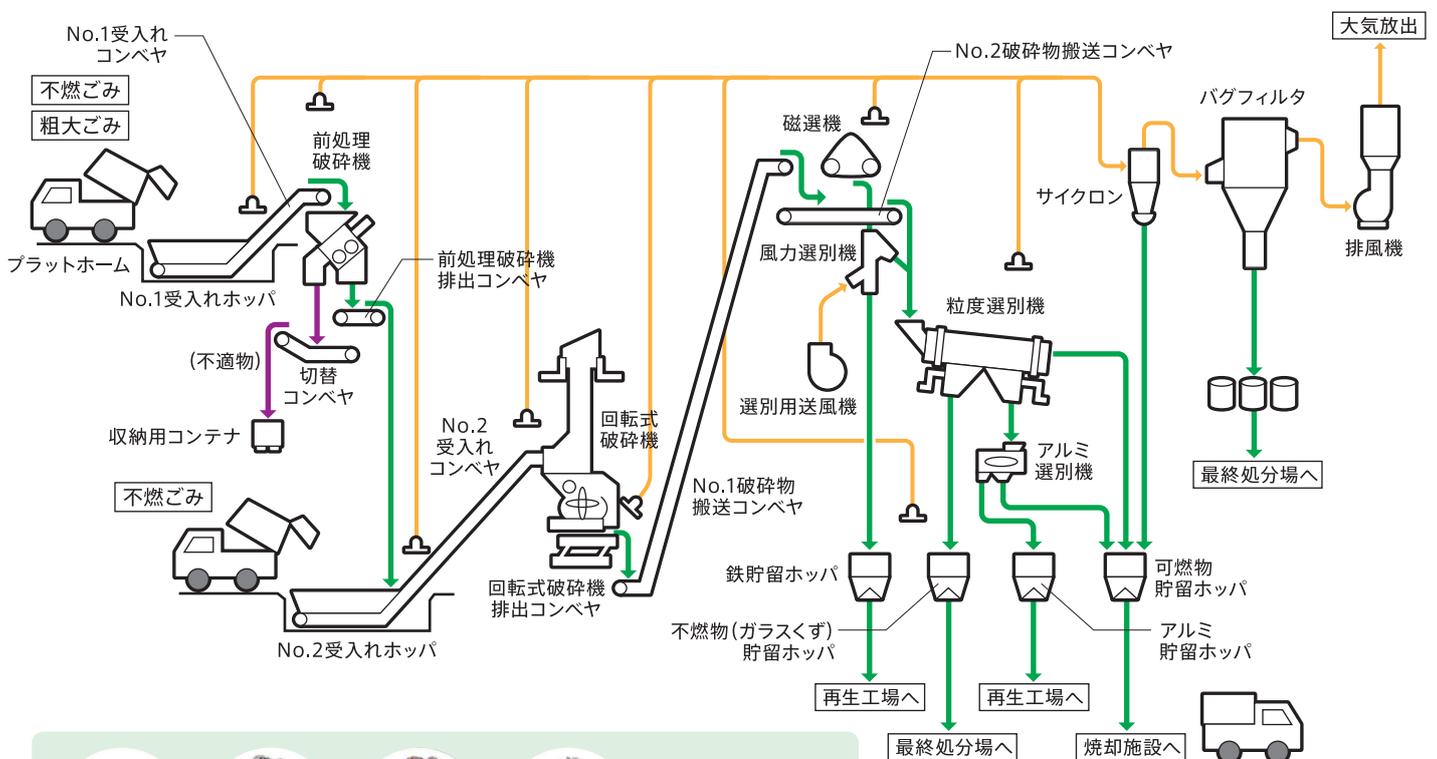
回転式破碎機

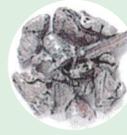
前処理されたごみは、回転式破碎機により、さらに細かく碎かれます。



磁選機

回転式破碎機で細くなったごみの中から、磁力を利用して鉄類だけが回収されます。





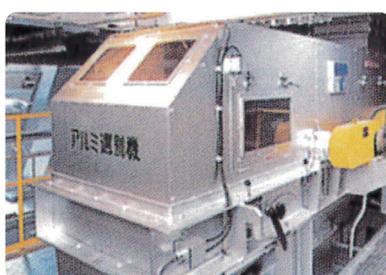
処理後のごみ
ごみはこのようにきちんと分別処理されます。

鉄
アルミ
可燃物
不燃物



粒度選別機

鉄以外のごみは、ごみの粒の大きさを利用して、紙・プラスチック・アルミを含んだ可燃物と、ガラス・陶磁器などの不燃物にふるい分けされます。



アルミ選別機

アルミを含んだ可燃物は、ここでアルミと可燃物に分けられます。



バグフィルタ

処理中に発生する、ちりや埃、有害物質はサイクロンやバグフィルタで除去され、きれいな空気になって外へ排出されます。

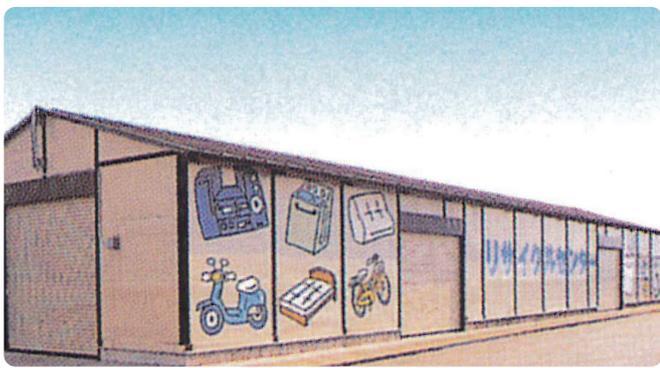
資源ごみストックヤード

資源ごみとは、人が飲んだり食べたりできる物が入っていたアルミ缶・ビンなどの再利用できるごみのことです。これらはきちんと分別回収され、クリーンセンターのストックヤードに運ばれます。その後、それぞれの再生工場へ運ばれ、新たな製品へと生まれ変わります。



リサイクルセンター

粗大ごみとして捨てられるものの中には、まだまだ充分利用できるものがたくさんあります。これらを保管し、再利用の推進を図るところがリサイクルセンターです。(家電リサイクル法対象品目については、取扱っていません。)



一般廃棄物最終処分場

焼却灰やガレキ類、不燃物(ガラス、陶器類)はこの管理型最終処分場で埋立処分されます。埋立処分場は、水密性アスファルト舗装とアスファルト含浸シートによる二重構造や漏水検知システムを備えた漏水防止対策が施されています。また、埋立処分場からの浸出水は、浸出水処理施設にて放流基準に適合するよう処理されます。

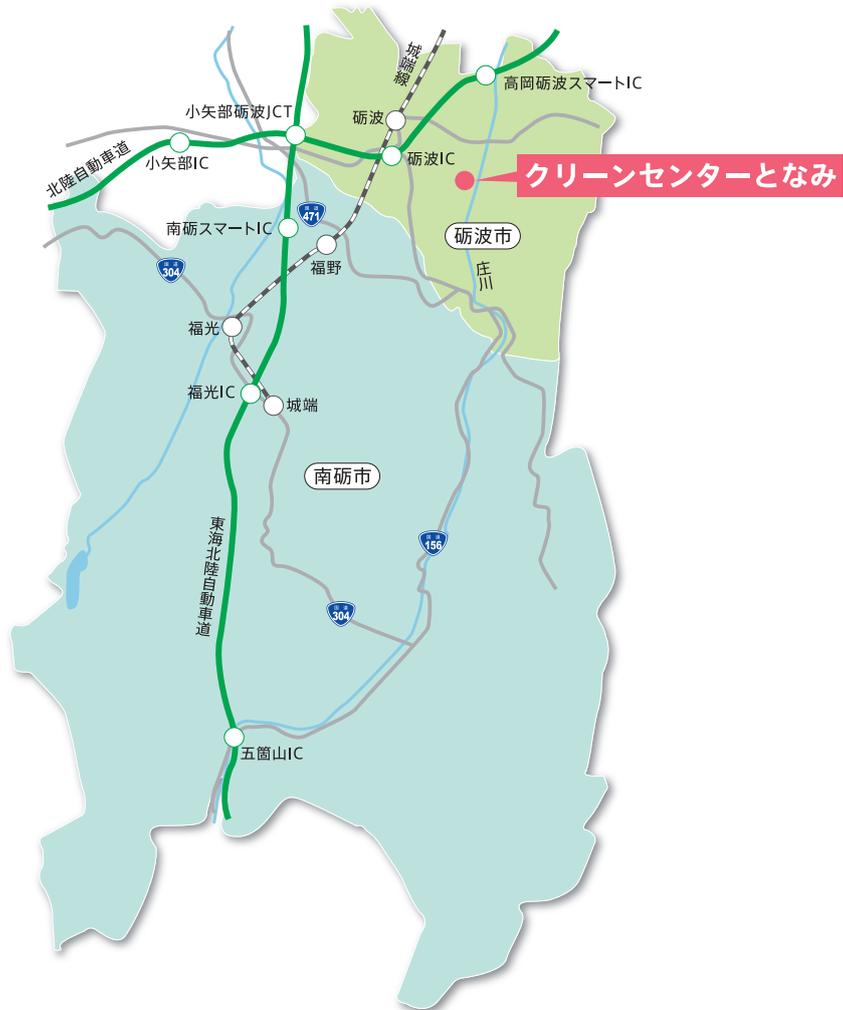


一般廃棄物最終処分場



浸出水処理施設

施設案内図



砺波広域圏事務組合

クリーンセンターとなみ

〒939-1315 富山県砺波市太田1873番地1
Tel. 0763-32-5648 / Fax. 0763-32-5860